

I 調査の概要

I 調査の概要

第1 調査の概要

1 目的

県民の歯科保健の状態を把握し、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な基礎資料を得ることを目的とするとともに、平成13年に設定した健康とっとり計画の中間評価をする。

2 調査対象者数

各保健所管内別人口比により抽出した15歳以上の者及び事業所健診を受診する者を対象に2,500名を調査する。

3 調査期日

平成17年11月～平成18年3月

4 主な調査事項

○歯科健診による調査事項

- ・現在歯の状況
- ・むし歯の罹患状況
- ・喪失歯及びその補綴状況
- ・歯肉、歯石の沈着状況

○アンケートによる調査項目

- ・歯磨きの状況（歯磨きの回数、時間等）
- ・歯の健康のために普段から気を付けている事、家族の状況等

5 調査方法

- (1) 調査員調査による口腔診査を平成17年度県民歯科疾患実態調査票を用いて行う。
- (2) 自己記入方式の平成17年度県民歯科疾患実態調査アンケート票を用いて行う。

第2 調査の事前準備

1 診査会場の選定及び診査室内の配置

診査室内の配置については、次の点に留意する。

- (1) 診査を行う位置は、明るい所を選ぶことが必要である。しかし、直射日光があたる場所を避け、診査中、一定の光源を用いるようにする。
人工光を用いる場合は、蛍光灯、白熱灯を避け、昼光灯を用いることが望ましい。
- (2) 机、光源及び器械器具は、能率的に診査が出来るように配置し、室内には受診者のため誘導路または誘導標識を設ける等、診査が能率的に行われるようにする。
- (3) 受診者が調査員のまわりに集まると、光源からの光をさえぎったり、記録誤りを生じるおそれがある

ので、受診者が診査を待つ間の待機場所を設営する。

2 診査器具材料及び薬品の準備

歯鏡、歯科用探針、ピンセット、プローブ、脱脂綿、ガーゼ、薬品等診査に必要なもの及び消毒器具は不足のないようにあらかじめ準備する。

3 被調査者に対する趣旨の徹底

調査を円滑に行うために調査者は、あらかじめ調査の趣旨及び調査日時を被調査者に徹底させるとともに、調査当日は歯口清掃を行ってから受診するように指導する。特に義歯を使用している者は不潔になりやすいので、歯口清掃に留意するとともに、義歯を装着して受診するよう指導する。

第3 調査の実施及び診査準備

1 調査の実施

(1) 口腔診査を実施、その結果を記入する事項

調査の実施にあたっては次の点に留意すること。

ア. 診査に用いる器具材料等は清潔に取り扱い、特に繰り返し使用する器具は消毒を完全に行う。

イ. 診査にあたっては、一時的な混雑で性急に診査がされることのないよう注意する。

ウ. 歯に付着物が存在し診査が困難と考えられる時は、歯の清掃をする等した上で診査する。

エ. 可撤性補綴物の鉤歯や隣接歯に発生したう蝕は、見落としやすいので注意すること。また、これらの場合は、補綴物を離脱させて残根の有無等、十分に注意して診査する。

2 診査基準

本調査は、次に掲げる基準に従って診査する。

(1) 現 在 歯

現在歯は、ア. 健全歯 イ. 要観察歯 ウ. 未処置歯 エ. 処置歯4種に分類する。現在歯とは、歯の全部または一部が口腔に現れているものをいう。過剰歯は含めないこととし、癒合歯は1歯として取り扱い、その場合の歯種名は上位歯種名をもってこれにあてる。(例：乳中切歯と乳側切歯の癒合歯は、乳中切歯とする。)

ア. 健 全 歯

- ・健全歯とは、う蝕あるいは歯科的処置の認められないもの（以下に記す未処置歯及び処置歯の項に該当しないもの）をいう。
- ・咬耗、摩耗、着色、斑状歯、外傷、酸蝕症、発育不全、歯周炎、形態異常、エナメル質形成不全等の歯であっても、それにう蝕のないものは健全歯とする。

イ. 要 観 察 歯

- ・歯質の変化がなく、単に小窩裂溝の内容物だけが黒褐色に着色しているもの、平滑面で表面的に淡褐色の着色を認められるが歯質は透明で滑沢なものは要観察歯とする。

ウ. 未 処 置 歯

- ・未処置歯は、乳歯、永久歯ともCとする。

(注)1. フッ化ジアミン銀（サホライド）のみ塗布したと考えられる歯は未処置歯とする。

エ. 処 置 歯

- ・処置歯とは、歯の一部または全部に充填、クラウン等を施しているものをいう。
- ・歯周炎の固定装置、矯正装置、矯正後の保定装置、保隙装置及び骨折副木装置は含まれない。

(ア) 充 填 歯

セメント充填、レジン充填、アマルガム充填、ポーセレンインレー、合金（インレー、アンレー及び3／4冠を含む）等により、充填又は一部歯冠修復しているものはこれに含める。架工義歯の支台歯であっても、一部修復しているものはこれに含める。

(イ) 歯冠補綴物

全部鑄造冠、陶材焼付鑄造冠、レジン前装鑄造冠、ジャケットクラウン等、歯冠のすべてを修復しているものをいい、架工義歯の支台歯であってもこれに含める。

(2) 喪 失 歯

抜去又は脱落により喪失した永久歯をいう。ただし、智歯は含まない。

(3) 補綴の状況

永久歯の欠損部における補綴物装着の有無を診査する。補綴物は、架工義歯、部分床義歯及び全部床義歯に分類する。架工義歯については支台歯を診査する。部分床義歯及び全部床義歯については、日常使用しているものであれば、診査時に装着していなくてもよい。また、一部破損していたりあるいは欠損部の状況と一致していないものは装着していないものとする。なお、乳歯の義歯・保隙装置は含まない。

(4) 歯肉の状況

7 6	1	6 7
7 6	1	6 7

の各歯の歯肉の状況をプローブを用いて、上顎は頬側面、下顎は舌側面について以下の基準で診査し、最大コード値を記入する。ただし、同顎、同側の第1、第2大臼歯については、両歯の最高点を記入する。

なお、コード3又はコード4に歯石の沈着が認められる場合は、上記の数字を○で囲む。

0：歯肉に炎症の所見が認められない。

1：プロービング後に出血が認められる。

2：歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む。）

3：ポケットの深さが4mm以上6mm未満

4：ポケットの深さが6mm以上

- ・対象中切歯の欠損により診査が不能な際、反対側同名歯を診査する。
- ・プロービングは、プローブの先端の球を歯の表面に沿って滑らせる程度の軽い力で操作し、遠心の接触点直下から、やさしく上下に動かしながら近心接触点直下まで移動させる。

第4 調査票記入要領

1. 記入上の一般的注意事項

- (1) 青又は黒のボールペン等ではっきり記入し、赤は使わないこと。ただし、「調査票」の診査事項の記入は鉛筆でもさしつかえない。
- (2) 数字の記入は、1, 2, 3……のように算用数字を用いること。
- (3) 誤記の場合の訂正は次の要領で行うこと。

ア. 記入を誤ったときは、2本の線(=)をひいて消し、その行の上部余白に他の文字(数字)と重ならないように注意して記入すること。インク消しの場合、はり紙、砂消しゴムの使用、塗りつぶしを行わないこと。

イ. 不動文字を○で囲む欄については、×で消し、正しいものに○をつけること。

(4) 本要領で規定している記入方法または記号以外のものを用いないこと。

2. 調査票の記入要領

① 口腔診查のうえ記入する事項

・ 診査票右上欄	診査の際、調査票右上欄にある調査日及び調査場所、調査歯科医師名を記入する。						
(1) 歯の状況	それぞれの歯について、該当する事項を次の記号を用いて記入する。 ・健全歯：／ ・要観察歯：C○ ・未処置歯：C ・処置歯：○ ・喪失歯：△(智歯を除いた永久歯のみ)						
(2) 補綴の状況	架工義歯と部分床義歯、全部床義歯について、それぞれの補綴物単位に一括して囲み、架工義歯はB、部分床義歯はPD、全部床義歯はFDの記号をつける。 この場合、義歯1個につき一字つけるものとする。 また、残根の上に装着された義歯がある場合は、(1)の欄にはう蝕の状況を、(2)の欄には補綴の状況をそれぞれ記入する。						
(3) 歯肉の状況	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">7 6</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">6 7</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7 6</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">6 7</td> </tr> </table> の各歯の歯肉の状況を診査し、最高コード値に該当する事項を次のコードを用いて記入する。 0：歯肉に炎症の所見が認められない。 1：プロービング後に出血が認められる。 2：歯石の沈着 (歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む。) 3：ポケットの深さが4mm以上6mm未満 4：ポケットの深さが6mm以上	7 6	1	6 7	7 6	1	6 7
7 6	1	6 7					
7 6	1	6 7					

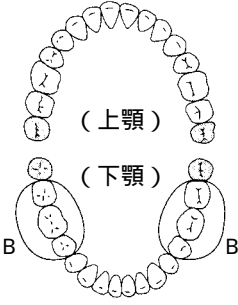
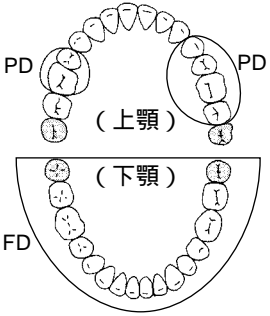
第5 アンケート調査票の記入要領

項目別記入例

性別：該当する方に○を記入する。

年齢：現在の満年齢を記入してください。

調査票記入例

記 入 記 号	記 入 要 領																																																																																																																																
<p>(1) 歯の状況</p> <p>健全歯：／ 要観察歯：C○ 未処置歯：C 処置歯：○ 喪失歯：△</p>	<p>* 診査基準に基づき、枠内に記号で記入する。</p> <p>(記入例1)</p> <table border="1" data-bbox="499 454 1414 607"> <tr> <td></td><td>／</td><td>○</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>C</td><td>C</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>C○</td><td>／</td><td></td> </tr> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> <tr> <td></td><td>○</td><td>△</td><td>○</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>○</td><td>△</td><td>○</td><td></td> </tr> </table> <p>(記入例2)</p> <table border="1" data-bbox="499 678 1414 831"> <tr> <td></td><td>／</td><td>△</td><td>△</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>／</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> </tr> <tr> <td></td><td>△</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>△</td><td></td> </tr> </table>		／	○	／	／	／	／	C	C	／	／	／	／	C○	／		8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8		○	△	○	／	／	／	／	／	／	／	／	○	△	○			／	△	△	／	／	／	／	／	／	△	△	△	△			8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8		△													△	
	／	○	／	／	／	／	C	C	／	／	／	／	C○	／																																																																																																																			
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																		
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																		
	○	△	○	／	／	／	／	／	／	／	／	○	△	○																																																																																																																			
	／	△	△	／	／	／	／	／	／	△	△	△	△																																																																																																																				
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																		
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																																																		
	△													△																																																																																																																			
<p>(2) 補綴の状況</p> <p>架工義歯：B 部分床義歯：PD 全部床義歯：FD</p>	<p>* 補綴物単位に一括して記号を付ける</p> <p>(記入例1)</p>  <p>(上顎)</p> <p>(下顎)</p> <p>(記入例2)</p>  <p>(上顎)</p> <p>(下顎)</p>																																																																																																																																
<p>(3) 歯肉の状況</p> <p>(注) 第1大臼歯の診査が不能の場合は、第2大臼歯を、中切歯の診査が不能な場合は、反対側の同名歯を診査する。</p>	<p>* 診査基準に基づき、その指数を枠内に記入する。</p> <p>(記入例1)</p> <table border="1" data-bbox="512 1473 911 1731"> <tr> <td>6又は7</td><td>1</td><td>6又は7</td> </tr> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>6又は7</td><td>1</td><td>6又は7</td> </tr> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>1</td> </tr> <tr> <td>6又は7</td><td>1</td><td>6又は7</td> </tr> </table> <p>(記入例2)</p> <table border="1" data-bbox="975 1473 1374 1731"> <tr> <td>6又は7</td><td>1</td><td>6又は7</td> </tr> <tr> <td>2</td><td>0</td><td>×</td> </tr> <tr> <td>6又は7</td><td>1</td><td>6又は7</td> </tr> <tr> <td>×</td><td>×</td><td>×</td> </tr> <tr> <td>6又は7</td><td>1</td><td>6又は7</td> </tr> </table> <div data-bbox="512 1771 1406 1995" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>0：歯肉に炎症の所見が認められない。 1：プロービング後に出血が認められる。 2：歯石の沈着（歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む。） 3：ポケットの深さが4mm以上6mm未満 4：ポケットの深さが6mm以上</p> </div>	6又は7	1	6又は7	0	0	2	6又は7	1	6又は7	0	0	1	6又は7	1	6又は7	6又は7	1	6又は7	2	0	×	6又は7	1	6又は7	×	×	×	6又は7	1	6又は7																																																																																																		
6又は7	1	6又は7																																																																																																																															
0	0	2																																																																																																																															
6又は7	1	6又は7																																																																																																																															
0	0	1																																																																																																																															
6又は7	1	6又は7																																																																																																																															
6又は7	1	6又は7																																																																																																																															
2	0	×																																																																																																																															
6又は7	1	6又は7																																																																																																																															
×	×	×																																																																																																																															
6又は7	1	6又は7																																																																																																																															

平成17年度県民歯科疾患実態調査票

秘

* 診査時に記入してください。

調 査 日

番 号	性 別	年 齢
	1 男 2 女	歳

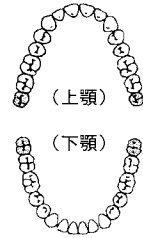
調 査 場 所

調査歯科医師

(1) 歯の状況

上 顎																
(右)	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
下 顎																

(2) 補綴の状況



【記入記号】

健全歯：／	要観察歯：CO	喪失歯：△	未処置歯：C
処置歯：○	部分床義歯：PD	全部床義歯：FD	架工義歯：B

(3) 歯肉の状況

6又は7 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>	1 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>
6又は7 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>	1 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/>

0：歯肉に炎症の所見が認められない
 1：プロービング後に出血が認められる
 2：歯石の沈着(歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む)
 3：ポケットの深さが4mm以上6mm未満
 4：ポケットの深さが6mm以上

(4) 特記事項

* 集計用として後で使用する

<p>1. 現在歯の状況(本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">健 全 歯</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">う 蝕</td> <td>処 置 歯</td> <td></td> </tr> <tr> <td>未処置歯</td> <td></td> </tr> <tr> <td>喪 失 歯</td> <td></td> </tr> </table>		健 全 歯		う 蝕	処 置 歯		未処置歯		喪 失 歯		<p>2. 要観察歯の状況(本)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">CO</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>		CO		<p>3. 未処置歯の状況(本)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">C</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> </table>		C	
	健 全 歯																	
う 蝕	処 置 歯																	
	未処置歯																	
	喪 失 歯																	
	CO																	
	C																	
<p>4. 補綴の状況</p> <p>(1) 補綴完了のもの</p> <p>(2) 一部補綴をしているもの</p> <p>(3) 補綴をしていないもの</p> <p>(4) 喪失歯なし</p>	<p>5. 歯肉の状況(本)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10%;">コード0</td><td style="width: 90%;"></td></tr> <tr><td>コード1</td><td></td></tr> <tr><td>コード2</td><td></td></tr> <tr><td>コード3</td><td></td></tr> <tr><td>コード4</td><td></td></tr> </table>	コード0		コード1		コード2		コード3		コード4		<p>6. むし歯所有者の処置状況</p> <p>(1) 処置完了のもの</p> <p>(2) 一部処置のもの</p> <p>(3) 未処置のもの</p>						
コード0																		
コード1																		
コード2																		
コード3																		
コード4																		

平成 17 年度県民歯科疾患実態調査票（本人用）

氏 名 (希望者記入)			調 査 日		
番 号	性 別	年 齢	調 査 場 所		
	1 男 2 女	歳	調査歯科医師		

(1)歯の状況

上 顎 (右)	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
	下 顎															

(2)補綴の状況



【記入記号】

健全歯：／ 要観察歯：CO 喪失歯：△ 未処置歯：C
 処置歯：○ 部分床義歯：PD 全部床義歯：FD 架工義歯：B

(3)歯肉の状況

6又は7 □	1 □	6又は7 □
□ 6又は7	□ 1	□ 6又は7

- 0：歯肉に炎症の所見が認められない
 1：プロービング後に出血が認められる
 2：歯石の沈着(歯肉縁下4mmまでのプロービングによる検出を含む)
 3：ポケットの深さが4mm以上6mm未満
 4：ポケットの深さが6mm以上

(4)特記事項

総合判定

1. お口の中は良好な状況です。
2. 要観察歯：COとは、ごく初期のう蝕が疑われ経過観察が必要です。注意しましょう。
3. 軽い歯肉の炎症が認められます。
4. さらに詳しい診査や治療が必要な状態です。
 - a. 歯石除去等について
 - b. 歯周病の治療について()
 - c. むし歯の治療について()
 - d. 義歯やブリッジについて()
 - e. その他()

3 かかりつけ歯科医について

(1) あなたは、かかりつけ歯科医を決めていますか

①決めている ②決めていない

(2) かかりつけ歯科医院で定期的に歯科健診を受けている

①はい ②いいえ

(3) 定期的に歯石除去や歯面清掃を受けていますか

①はい ②いいえ

3

(1)

(2)

(3)

4 訪問歯科診療について

(1) 「訪問歯科診療」を知っていますか

*訪問歯科診療とは、歯科医師が、家庭や施設へ出向いて歯の治療や入れ歯の作製・調整等を行うことです

①知っている ②知らない ③聞いたことはあるがよく分からない

4

(1)

5 高齢者に対する歯科対策について

(1) 必要と思われるものに○をつけてください（複数回答可）

①老人保健施設、デイサービスセンターでの歯科健診

②嚥下（えんげ）訓練

③健康教育、健康相談、定期的な歯や入れ歯の清掃

④訪問歯科診療

⑤その他（ ）

5

(1)

6 あなたのかむ力について

(1) 食事の時、あなたのかむ力はどうか

①なんでもかめる ②あまりかめない ③かみにくいものがある

(2) あごの関節の状態について

①開・閉口時に音がする ②食事の時などに痛みがある ③口が開きにくい

④特になし

6

(1)

(2)

7 20歳以上の方のみ、お答えください

(1) あなたは、現在たばこを吸いますか

①吸う 1日（ ）本 喫煙期間（ ）年間

②吸わない

7

(1)

8 家族に保育園・幼稚園児、小・中学校生がおられる方にお尋ねします

(1) 子どもの仕上げみがきをしていますか

①はい ②いいえ

(2) 3歳までにフッ素塗布を受けたことがありますか

①はい ②いいえ

(3) フッ素入り歯みがき剤を使用していますか

①はい ②いいえ

(4) 1日3回以上甘味食品・飲料を飲食していますか

①はい ②いいえ

(5) 歯や歯ぐきのためにバランスのとれた食事をしていますか

①はい ②いいえ

(6) かかりつけ歯科医がありますか

①はい ②いいえ

(7) 過去1年間に個別の歯みがき指導を受けたことがありますか

①はい ②いいえ

8

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

～御協力ありがとうございました～